

検証の進捗状況について

令和3年3月
厚生労働省

令和2年度検証の進捗状況(全体)

今年度調査で一定の成果は出ているが、各調査項目について、さらなる検証・精査が必要。

① 原爆由来の放射性物質を確認する課題

祈念館における体験記調査
【資料3-1, 3-2, 参考資料4, 5】

- ✓ 5,880件の被爆体験記^(※)について一通り内容の確認を終了し、地図上の分布を作成
- ※被爆者(手帳所持者)等の体験記

原爆投下時の気象状況等に関する
文献等調査
【資料4-1, 4-2, 参考資料6】

- ✓ 米国公文書館、トルーマン大統領図書館において、それぞれ30を超えるキーワードを用いた検索を実施。候補文献のリスト化を完了。

気象シミュレーション
+
土壌調査
【資料6】

- ✓ 広島原爆による放射性降下物等実態検証に係る関係者協議会(HiSoF)の研究者からヒアリングを実施
- ✓ 広島・長崎において、数地点で試掘・土壌採取を実施
- ✓ R3年度に向けた、気象シミュレーションの“レシピ”を作成中

② 健康影響が生じているか確認する課題

広島赤十字・原爆病院における
カルテ調査
【資料5】

- ✓ 広島赤十字・原爆病院にあるカルテ^(※)について、雨に曝露した記載がある者(100名弱)とそれ以外の入市被爆者との間で、被爆直後の症状や被爆40年以降の疾病状況の比較を実施。
- ※同院のカルテは被爆者(手帳所持者)に限られる。

相談支援事業受診者の疾患罹患状況
の統計解析、アンケート調査

- ✓ 広島赤十字・原爆病院におけるカルテ調査の結果、構成員指摘も考慮に入れ調査方法を検討。

令和3年度の検証に向けて(論点)

今年度の検証状況を踏まえ、令和3年度も引き続き、以下の視点で検証を進めてはどうか。

① 原爆由来の放射性物質を確認する課題

祈念館における体験記調査

(さらに被爆体験記から検討すべき点はあるか)

原爆投下時の気象状況等に関する文献等調査

- リスト化された文献を中心に、資料の確認を続けることとしてはどうか。
- 調査の対象として、米国内の他の情報源(特に米国国立科学アカデミー、米国国立衛生研究所 国立医学図書館)を加えてはどうか。

気象シミュレーション+土壌調査

- 今年度の調査結果を踏まえ、気象に関する文献や論文の調査をさらに進めるとともに、調査研究の方向性を検討するため、検討会構成員(山澤・岩崎・増田構成員)とWGチーム員との意見交換の場を設定してはどうか。
- 気象モデルの検証に向け、土壌試料の採取と諸分析をさらに進めてはどうか。
- 土壌試料の採取には広島だけでなく長崎も加えてはどうか。

② 健康影響が生じているか確認する課題

広島赤十字・原爆病院におけるカルテ調査

(さらに原爆病院のカルテから検討すべき点はあるか)

相談支援事業受診者の疾患罹患状況の統計解析、アンケート調査

- 調査対象者の負担も考え、鎌田構成員の提案【資料7】の実現に向けた検討に入ってはどうか。